

21th 福岡デザインアワード

# FUKUOKA DESIGN AWARD 2019



受賞商品集





11月12日(火)～13日(水)にJR九州ホール(福岡市博多区)で開催。来場者は2日間で約500名。応募総数157点の中から一次審査を通過した、ノミネート商品49点の出展者が、それぞれ自社製品の魅力や想いを伝えた

# ものづくりによりデザインのパワー。

福岡デザインアワードにて受賞された企業ならびにデザイナーの皆さまに、心からお祝い申し上げます。

デザインは、色や形で商品の魅力を高めるだけでなく、社会の課題を解決し、生活者のニーズに応える新たな価値を創造する力を秘めており、これからの時代、企業が売り上げを伸ばし発展していく上で、欠かすことのできない要素です。

福岡デザインアワードは「ものづくりにデザインのパワーを活かす」という趣

旨で始まり、今回で21回目を迎えました。

これまで2694点の応募商品の中から、711点の商品を表彰してまいりました。今回も、優れた技術、独創的なアイデア、これらを魅力的なデザインで仕上げた素晴らしい商品が多く、それぞれの商品に込められた熱い思いを感じました。

福岡県産業デザイン協議会では、デザインの活用により課題解決を目指すワークショップの開催、小売業者との連携による販売会や大規模展示会への

共同出展など、県内企業の皆さまの

デザイン力向上から販路開拓に至るまで、総合的に支援しています。ワークショップへの参加から、アワードでの受賞につながる、海外進出された企業、販売会を通じて大規模小売店との取引がスタートした企業もあります。今年は、企業のさらなる販路拡大に繋がるよう、流通関係者とノミネート企業による個別商談会を開催しました。多くの商品が商談成立につながることを期待しています。

今後も、これまでの歴史・実績を糧に、時代の変化に応じて、より一層充実した内容となるよう取り組んでまいります。福岡デザインアワードを通じ、福岡県発の素晴らしい商品が一つでも多く生まれ、日本全国、そして世界に広がっていくことを願っています。



1\_商品を手に取り、丁寧に視察してまわる小川知事。小さな出展者との交流もみられた 2\_商品の開発の経緯に耳を傾ける唐池会長は審査委員としても参加した。 3\_大賞を受賞した「monaca stoolシリーズ」を視察する小川知事と唐池会長。 4\_受賞者には賞状と賞金が贈呈された

第21回福岡デザインアワード受賞者の皆さま、誠におめでとうございます。今年、全国から145社、157もの商品応募をいただきました。応募いただきました企業の皆さまに感謝申し上げます。

昨年、20回という節目の年を迎え、1年をかけて様々な見直しを図りました。アワードの更なる価値向上のため、審査方法を見直し、一次審査を通過した商品のみがアワード当日の会場にお

披露目されるノミネート方式を採用

しました。また、受賞企業の賞賛と更なる本業展開に役立てていただくため、経済界10社からご協賛いただき、賞金の創設を行いました。ご協賛いただいた企業の皆さまに改めて感謝申し上げます。その甲斐もあり、全国から高いレベルの商品が集まりました。これはアワードの価値が高まっていることを反映しているものであり、大変嬉しく思います。

今年の大賞は大川市の企業で、株式会社酒見椅子店の「monaca stoolシリーズ」が受賞されました。デザインだけでなく、機能性や商品コンセプトなど総合的に高く評価されました。また、他の受賞商品についても、Good design is Good business. を体現されていて、受賞企業の皆さまが、これら商品とともに今後も成長、発展していくことを期待させるものとなっています。福岡県産業デザイン協議会及び福岡デザインアワードでは、アワードの価値向上のため、様々な取組みを行っています。引き続き、日本を代表するアワードとなることを目指して取り組んで参ります。皆さまには今後の福岡デザインアワードにご期待いただくとともに、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

唐池 恒二 福岡県産業デザイン協議会 会長  
(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長)

福岡県知事 小川 洋

# デザインのパワーをビジネスのパワーに。





福岡デザインアワードは、デザインビジネスを通して地域の未来を明るくするプラットフォームを目指しています。



デザインの価値を高める。



公平に審査ができるよう、有識者、デザイナー、流通関係者など、様々な分野から計13名の審査委員が選ばれ、7つの審査基準をもとに出展者へのヒアリングが行われます。ヒアリングの内容は審査委員で共有され、議論の後、受賞商品が決定されます。

評価によって商品価値を高めることができ、多様な専門家の視点やアドバイスは商品のブラッシュアップに繋げることができます。

デザインビジネスを  
発展させる。



審査会翌日に流通関係者を招き、個別商談会を開催しました。事前に商談希望調査を行い、出展者はマッチングされた企業との商談を行います。事前のメディア等のリリース、知事と会長による記者会見などにより、急遽参加したバイヤーも多く見られました。また、出展者同士の交流を促進する場を設けたことで、異分野の意見交換からコラボレーション商品企画など、新しいビジネスへの発展が期待されます。

デザインの質をあげる。



「ブランディング」をテーマとしたセミナーを開催し、自社製品の具体的な販売方法を客観的視点で見つめなおす機会となりました。

会場に集まる商品の数だけアイデアや技術や物語があります。出展者は他の商品に触れ、意見を交わすことで、互いの共通項が見つかるなどの気づきや新たなヒラメキのきっかけとなります。宣伝の場でもあり、学びの場でもあり、さらなる発展の場でもあるのです。

講師：株式会社そもそも ファシリテーター 赤松 範磨氏

大賞



真のオリジナルを  
突き詰めた先で、  
空間に花を咲かせる  
椅子が生まれた。

monaca stool 各色 ¥19,600

## monaca stool シリーズ

株式会社 酒見椅子店

Design : SAKU DESIGN  
作道 慶昭

### 令和元年を彩るデザイン

花は、土地や風土のアイデンティティを象徴するものとして、また季節や気候などの時の移り変わりを表現するものとして選ばれる。わが国では、花は古くより芸術の題材として親しまれており、古今集や万葉集などの和歌は花を用いて心の機微を表している。

“monaca stool”シリーズは、和歌の中で描かれた花の心をカタチにした、今の生活スタイルに馴染むように和風すぎず、部屋の片隅にアクセントを添える、和菓子にインスパイアされたコンパクトなオリジナルファニチャーを提供している。

家庭内の玄関先のフットスツールや来客用のエキストラチェアの利用だけでなく、店舗やホテル、飲食店などで場所を取らない彩りの楽しいスツール等、幅広く多様な市場性を有している。

また、腰掛けるのに必要で最小のサイズにおさめることで、女性にも楽に持ち運ぶことができ、省スペースにも貢献している。和風テイストを際立たせる「ちりめん」タッチのファブリックには多くのカラーバリエーションが用意され、50%を超える再生ポリエステルを使用するなど環境への配慮にも注力されている。

“monaca stool”シリーズは、日本古来の桜や梅などの六花の華やぎと、他に類のない和菓子の「最中」をモチーフとした「ちりめん」タッチの美しいファブリックの組み合わせで、様々なシーンに展開される、コンパクトでありながら多様な場を彩る、市場性と機能性、そしてなによりも令和に相応しい花の心をカタチにしたトータルデザインが評価され、大賞を射止めた。

(九州大学 森田 昌嗣)



ちりめんを模したファブリックは、ふんわりもっちりとした触り心地。和風テイストを一層際立たせている。様々な場面で使用でき、軽くコンパクトで女性でも持ち運びやすく、使い勝手がよい



和菓子の「最中」をモチーフに、日本古来の六花(桃・梅・椿・桜・桔梗・菊)の華やぎを纏わせたスツール。その存在は椅子としてはもちろん、インテリアとしても機能するように考案された

「私たちのつくったソファのその先に  
皆様の笑顔がありますように…」

株式会社 酒見椅子店

文:米村 奈穂 写真:村上 智一



従業員数は16名。工場は、職人  
気質のピンと張り詰めた空間と  
思いきや笑顔溢れる和気藹々と  
した現場だ



2階建の工場の1階部分では、椅子の本体部分の木を削る作業が行われていた。サイズを測る者、木を削り出す者、流れ作業ではなく一人一人がそれぞれの作業に向き合っている



色とりどりの布のロールが積み上がった棚の前には、椅子生地を裁断する台がある。台の横にセッティングされた大きな生地が、規則正しい動きで次々に採寸されていく

確かな技術が生んだデザイン

福岡県で家具の街といえれば思い浮かぶのが大川市。クルーズトレインとなつ星の内装に採用された伝統工芸品「大川組子」の産地としても知られる。

木材の産地日田が、大川市を流れる筑後川上流に位置したこともあり、材料、運搬の条件が揃い、480年あまりの歴史を誇る大川の家具産業は発展した。

大賞を受賞した「monaca stool」（モナカスツール）シリーズは、家具の街大川にある創業1954年の椅子専門店「酒見椅子店」で生まれた。スツールとは辞書によると、「よりかかる所の無い、小さな腰掛け」とあり、椅子の原型とも言える。

物で溢れる昨今。我々の生活を振り返ってみても、各家庭に家具は十分に揃っている。そんな生活空間にプラスできるものは何かと考えた三代目の酒見智大社長は、和菓子をモチーフとしたスツールをデザイナー作道慶昭氏と

共に開発した。

なぜ和菓子なのか？ 海外の展示会で酒見社長が目にした最新の家具づくりの現場は、自動化が進み、管理者と労働者が分けられ、単価を下げるために作業効率が優先されたものだった。ホテルや商業施設などに設置されるオーダー家具の受注が多かった自社ではこの効率化の流れに追従できないと感じたという。そこで、メーカーとして生き残るためには、一般の人にも受け入れられるオリジナル商品が必要だと考えるようになる。

椅子作りはもともと、ヨーロッパの文化。海外の技法を突き詰めたところで、本当のオリジナルと言えるのだろうかと思悩む、そこで、ここ大川で製品を作る意味にもう一度立ち返ってみることにした。

自分たちにはかできないものは何かと考えたとき、海外の文化にはない、和のテイストを取り入れようと思い、今でも残る和のものを探し求める中で「和菓子」の存在に着目する。職人が作り出す美しく多彩な形、柔らかな質

感など、ソファづくりに繋がるものがあった。また、形だけではなく、空間を邪魔しない、もらって嬉しいなど、生活を彩る存在そのものが求めているコンセプトともマッチした。

そして、座面そのものが和菓子の「最中」をモチーフとするデザインが決まり、和菓子という日本文化と欧米が原点のスツールが融合したところにもない真のオリジナル商品が生まれた。

コンセプトが決まってからは早かった。花の種類が次々と浮かび、種類が増えても自社の持つ技術を応用すればできると確信していた。通常はなかなか



「城壁」をモチーフにしたソファ。見かけによらず座り心地は優しい。石の壁という縦型で固いものを、ソファという柔らかな家具のデザインに取り込んだ





座面のウレタンには花の種類によって違った切れ込みが入れられ、その切れ込みに生地を埋め込んでいく。

5 シワがよらないように慎重に



4 中央に大きなボタンが縫い付けられる。洋服のボタンを付けるのと同様に、台座に空いた小さな穴に糸を通す。この辺りの工程で、木工と服飾の技術の融合が見られる



3 切り取られた花びらは、すぐ横でスタンバイする縫製係へ託される。ダダダッとミシンで縫われ、一瞬にして一輪の花となった。6種類の花の中でも梅は、曲線を縫い合わせるため難しい



2 赤い生地が迷いのないハサミの動きで花びらの形にザクザクと裁断される。なんとなく梅の花だとわかる。ちりめんの風合いがある生地は伸縮性があり裁断が難しい

1 座面のクッションとなるウレタンと台座の木を貼り付ける。台座より一回り大きなスポンジが、みるみるうちに花の形になって台座に貼り付けられていく。徐々に花の形が見えてきた



6 座面に切り込みを入れ4本の足をバランス良く差し込んでいく。ガタつきがないか何度も確認する。木は湿度によって収縮するため、細心の注意が必要だ

かうまくいかない試作品の作成も、現状とほぼ変わらないものが一発で思い通りにでき、はまる時というのはこういうものなのかと感ずる早さで、着想から2週間ほどで商品が完成した。

### 花の椅子が生まれる現場へ

ショールームから車で5分ほどの場所に工場がある。普段は見ることのできない内部を見学させてもらった。

工場の中へ入ると、木を削る大きな機械音と、木屑の香りがした。酒見社長は幼い頃、この工場が遊び場だったそう。落ちた木屑を集めて遊び回っていると、職人さんたちがだまって機械を止めてくれたそう。生活のすぐそばで見えてきた工場で働く人々の姿が、酒見社長の、職人たちの技術への信頼に繋がっているのかもしれない。

1階では、椅子本体の木を削る作業が行われていた。流れ作業ではなく一人一人がそれぞれの作業に向き合っている。計測する者、木を削り出す者。床も台の上も木屑で覆われている。年

行われていた。ウレタンには花の種類により異なる切れ込みが入れられ、そこに縫製した生地を埋め込んでいく。次に、台座に生地を張り込んでいく「張り」の作業が行われる。ここでは、椅子に生地を張ってもうすぐ50年になるという張り担当がいる。手の感覚で覚える作業は、口ではなかなか人に教えられるという。

最後は、座面に足を差し込む作業。ガタつきがないかを何度も確認し、金槌で叩きながら埋め込んでいく。木は湿度に左右される。雑な作りだと、暖房や直射日光でも狂いが生じる。職人さんが、自分で作った自宅の食器棚は、30年間狂いがないと自慢してくれた。

この椅子を作るようになった時、どう感じたか尋ねてみると、口を揃えて自分たちの技術があればできると思ったと答えた。作業の工程で大変な箇所はないかと尋ねても、なかなか答えが出てこなかったが、「この中の一人が欠けてもできない、ここにいる全員が必要だ」という声が上がった。一つの椅子に、木の加工、生地の裁断、縫製



空間を彩るモナカツール。花の種類、色、脚の材質を選ぶセミオーダー式

季の入った急な階段を上がると、椅子の生地部分を加工する場所になっていた。ここで、一脚の「monaca stool」が出来上がる工程を見せてもらった。色とりどりの生地のロールが積み上がった棚の前には、椅子生地进行裁断する台があり、ペアで向き合い、まるで踊るように大きな生地を自在に操る二人の女性がいた。あうんの呼吸で生地を採寸していく様子に思わず見惚れる。この二人でペアを組んで何年なのか尋ねたところ、「17年くらい？」との返事に驚いた。

裁断された生地は窓際に2台並んだミシンの前の縫製係に託される。奥の部屋では、座面のクッションとなるウレタンを台座の木に貼り付ける作業が

座面内部の作成、座面への生地への張り付け、仕上げの張り、足の取り付けと、最低でも7人の手が掛かる。裁断係の女性が、最初の一脚を完成させた時、ツールが可愛いと思ったと嬉しそうに話してくれた。

確かな技術が、柔軟なデザインを着想させ、その技術がデザインを実現化する。どちらが欠けてもできない商品だったのかもしれない。

椅子という海外発祥のものづくりの現場で、真のオリジナルを突き詰めた先に、日本の花が咲いた。

家庭用から大型施設用まで様々なソファが展示されているショールーム。カウンターや壁には廃材が使用されている



株式会社酒見椅子店  
〒831-0025 福岡県大川市坂井 740-6  
Tel.0944-86-4385  
<http://www.sakemi.co.jp/>

# 金賞

## 手ぬぐいパンツ 「ぐいパン」

株式会社 かんべ笑会

Design: 株式会社かんべ笑会  
ぐいパンプロジェクト  
神戸 海知代



たくさんの絵柄で着替える楽しさを体験できる、手ぬぐいパンツ。子どもの好みや成長、目的に合わせた形状やサイズにカスタマイズが可能

### 優れた仕組みのデザイン

この商品の開発ポイントは、博多祇園山笠の余った手ぬぐいをリユースする点にある。また、日本古来の伝統技術「和ざらし」で加工された商品は肌触りがよく、通気性、吸水性に富んでいる。その機能性を幼児の普段着に生かそうという発想と、種類の違う手ぬぐいを組み合わせた、動きやすく成長に応じて調整できるデザインなど、その展開の豊かさが楽しい。

また、縫製は元プロのOGやOBによるもので、品質の強度を確保しつつ、人材の再雇用を伴うものとなっている。さらに、型紙の販売により、自分で作ることもできる。商品デザインの幅の広さ、人材の再雇用を織り込んだ製造ネットワークの仕組みの構築により、少量生産でも市場価格とマッチさせ、「もったいない」というアイデアを仕組みづくりを通して売れる商品にまで高めている点が総合的に評価された。

(一社) 福岡デザインアクション 垣田 健吉郎



山笠の手ぬぐいが、ママのアイデアで、  
子ども親も喜ぶパンツに変身。

ぐいパン ¥2,400 ~ 5,400 型紙 ¥800



金賞受賞者。左から株式会社かんべ笑会さん、LVJCO MOMさん、株式会社タケマンさん、株式会社グローウィングさん、株式会社大塚製作所さん

## ケープ付き授乳カットソー

LVUCO MOM

Design : LVUCO MOM  
末次 薫

母乳育児の理想をカタチにしたデザイン

母乳育児が見直されつつある昨今、人前で授乳する機会は必然的に多くなる。この商品は、「自然に、スマートに、手間なく、授乳できる洋服が欲しい」という開発者の実体験に基づいたニーズが具現化された商品である。まず驚いたのは、開発者に服飾関係の経験がなかったことだ。結婚する際にウエディングドレスをオーダーしたというサロ



フリルが全体に付いており、授乳の際はフリル上部のファスナーを開けることで赤ちゃんの顔を見ながら授乳ができるデザイン

にサンプルの制作を依頼し、アイデアをカタチにしたというその熱意と行動力は、想いがあれば誰でも商品開発ができるという可能性を見せてくれた。スナップボタンをフラスナーに変更するアレンジ力や、商品のオリジナル性にも早く気づいて特許を取得するという開発者のスピード感も光る。袖の長さや素材、色柄など、さまざまなバリエーションの拡大に今後も期待できる。

(㈱阪急阪神百貨店 島本雅也)



業界初のニット生地。

快適性にこだわった優しいウィッグ。

5Star ファイブスター® ¥186,000 ~ ¥211,000

## 医療用ウィッグ 「5Star ファイブスター®」

株式会社 グローウィング

Design : 株式会社グローウィング  
堀江 貴嘉



ベース生地に貴重な海島綿を使用した医療用ウィッグ。肌当たりのいいニット生地は長時間の着用でも快適

業界初の技術を駆使し  
実現させた  
「静かなるデザイン」

弱者に対して生み出される「救済」という機能を持ったデザインがある。それは外部からは見えず（見えてはならず）、利用者にとってはその存在を忘れるくらい機能が必要とされる。どうしても、そのルックスによる視覚効果や役割の多くを占めてしまうデザインの世界では、これはまさに「静かなるデザイン」

と言えるだろう。このウィッグは、肌に直接触れる部分に希少で高品質な「海島綿」が使用され、高い技術力で肌触りなどの使用感を徹底的に追求している。

見えない部分を追求し、その存在を秘しつつ、かつてない技術を使ってその機能を極めた先に生まれる、利用者「救済」するという尊い役割。あらためて「デザインの本質」とは深いところにあるのだと学ぶことができた。

(㈱電通九州 伊藤敬生)

「欲しい」が形に。普段着に  
使える授乳用カットソー。

ケープ付き授乳カットソー ¥9,800



職人が作り上げた視覚的にも味わう新しい楽器  
 私たちは音楽を耳で聴くものと思いがちである。しかし、実際のオーケストラの演奏会を想像してみてもほしい。指揮者の体全体を使ったパフォーマンス、演奏家たちの真剣な表情、光り輝く楽器群といった、視覚的な面も含めて、私たちは音楽を「味わっている」のである。

本商品は、その澄んだ音色と心地よい余韻はもろろんのこと、デザインとしての美しさ、楽しさ、新しい楽器としてのワクワク感と驚きを兼ね備えている。まさに、「デザインもまた音楽を創る」ということを証明している商品と言えよう。

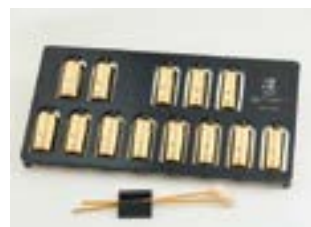
そして、忘れてならないのは、この新しい楽器は、卓越した職人の技と心意気から生み出されたものであるということだ。そこにますますの感動を覚え、改めて敬意を表したい。

(九州旅客鉄道 唐池 恒二)

## 音階打楽器「凧 (RIN)」 傾斜スタンドタイプ 1 オクターブセット

株式会社 大塚製作所

Design: 株式会社 大塚製作所  
 根岸 忠宏、久保田 勇  
 森島 達也、川島 光洋



銅合金を削り出してできた打楽器。普段は立てて美しいインテリアとして、演奏するときは傾斜させ叩きやすい楽器になる



女子高生発案、国内初の  
 メンマスナックが  
 里山保全に繋がる。

博多 BARIMEN ¥260~

## 博多 BARIMEN

株式会社 タケマン

Design: 博多女子高等学校トータルビジネス科

里山保全に繋がる  
 「メンマスナック菓子」

山林を管理される所有者の高齢化に伴い、放置山林や放置竹林が増えている。特に竹の成長は早く他の樹木を浸食することから「放置竹林」が全国的に問題となっている。これまで竹は、タケノコとして食べたり竹細工や消臭効果の高い竹炭として活用されてきたが、その需要も年々減少傾向にある。そうした中で、孟宗竹を新たな食品の原材料

とした商品が生まれている。この動きに呼応する形で企業と高校生が取り組んで商品化したスナック菓子。糸島産孟宗竹100%のメンマスナック菓子は、女子高生らしいアイデアで「食べきりサイズ」で「食物繊維」も摂れ、この商品が売れることで里山の保全と「放置竹林」の問題解決への糸口を一歩前に進め、糸島地区の新たな特産(名物)にも成り得る取り組みは高く評価できる。

(JAGDA福岡 久保紀子)



糸島産孟宗竹を100%使用した国内唯一のメンマスナック。ブラックペッパーとチリペッパーの2つの味が選べる

澄んだ音色はプロをも魅了。  
 世界初、金属削り出し製法による打楽器。

音階打楽器「凧 (RIN)」  
 傾斜スタンドタイプ 1 オクターブセット ¥98,000



お土産に最適な県産米と  
郷土玩具のコラボが実現。



九州産のお米を、各県に伝わる縁起物である郷土玩具のヴィジュアルとともにお土産として製品化。少量(2合…300g)でパッケージングされており、価格も¥650。真空パックなので保存食(賞味期限2年)としての側面も考えると、防災面での需要も取り込める。

昨今のインバウンド需要向けに、九州産のおいしいお米を発信できるところもよい。

(株)インキューブ西鉄 林秀和

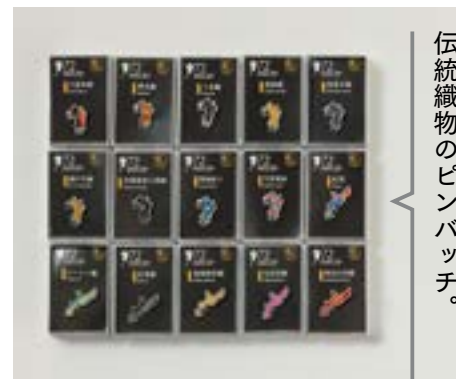
ひとかけで、いつもの食事が  
栄養食になる納豆パウダー。



栄養価の高いスーパーフードである納豆を手軽にと、フリーズドライで粉末状にすることで、納豆のネバネバ・臭いが苦手な人にも食べやすくした点が非常に面白い。契約農家(佐賀県)に無農薬栽培で大豆を生産してもらおうという工程にもこだわり、生産者から食卓まで納豆を通じて手軽に美味しく食べていただく工夫と発想の詰まったすばらしい商品である。

(株)インキューブ西鉄 林秀和

# 銀賞



アクセサリで九州愛を表現。  
伝統織物のピンバッジ。

九州の伝統的な織物の端材を活用し、「九州愛」を表現した商品。製造が働く女性の仕事支援につながる仕組みもデザインされている。アイテムをアクセサリとしたことで、普段身につけられるものとして、「私は九州(または県地域)を愛しています。それをアイデンティティとしています」という帰属意識を表現するエンブレムを創作した点が評価された。

(一社)福岡デザインアクション 垣田健吾郎



地元産のナスと小麦を使った  
味わい深いビスコッティ。

和水町の特産であるナスを使用したビスコッティだ。

ギフト品として開発された商品だが、サイズ・価格設定・パッケージデザインなどマーケティング面でのバランスがよく、市場性の高さがうかがえるおしゃれな商品に仕上がっている点が高く評価された。さらに販促面での工夫次第で、カフェやレストランへの提供など、ギフト以外の需要も期待できる商品となっている。

(福岡県商工会連合会 古賀俊充)



療養中の快適性と気持ちに  
寄り添う平面パジャマ。

大手メーカーが既に扱っているジャンルではあるが、メーカー品は介護される方向けの機能重視の商品が多い。そんな中、本企画は病院で過ごされる女性の気持ちに寄り添う素敵な機能美あふれる企画となっている。どんな状況でどんなふうにも本商品が使用されているのか、この商品が生きている景色が目に見えよう。今後需要の多い企画であり、精度を上げて商品価値をより高めてほしい。

(有)セメントプロデュースデザイン 金谷勉



「福津にふさわしい土産品を作りたい」——その強い思いが、商品にもデザインにもふんだんに込められた一品。福津に行ったことのない人にも、その美しい海をロマンチックに想像してもらえ、地元愛にあふれた繊細でコンセプトチャルなディレクションが実に見事である。

(熊本通九州 伊藤 敬生)



鹿児島県産食材と和洋の調理法を組み合わせた角打ちスタイルのメニューの一つひとつに工夫が見られ、酒問屋(目利き)として提案する酒とのペアリングにも説得力があった。パックのままレンジで加熱することが可能で、保存期間をより長くすることができた容器選定も商品性向上に大きく貢献している。地域性や自社の強みを活かした企画など、商品の総合的な完成度が評価された。

(昭和トータルサービス(株) 徳永明)

いつでも気軽に角打ち気分。老舗酒問屋作のおつまみシリーズ。



新しく多彩な提案で味噌をもっと手軽に食卓へ。

味噌といえばお味噌汁というイメージが強い中、新しい視点から味噌を捉え直し、手軽に楽しめる商品へと仕上げています。「林檎とシナモン」、「玉葱と生姜」など、味噌の加工品とは想像できない商品に驚いた。味噌に対する深い愛情がなければここまでの仕上がりはできない。これからも日本の伝統食材である味噌の魅力を発信し続けてくれるものと期待している。

(株)石村萬盛堂 石村 一枝



子安神様の里で生まれた福岡初ヤギのミルクアイス。

子安神様である宇美八幡宮にちなんだ特産品で、他では見られないヤギミルクを使用した4種類のアイス。優しい感じのパッケージも商品の特徴を表している。新たな観光資源づくりという社会性と、ヤギミルクアイスという高い独自性。ヤギの飼育から自ら手掛け、アイス製造は大安吉日戌の日に行うといったこだわりも商品の大きな魅力となっている。

(福岡県商工会連合会 古賀 俊亮)

箱屋の技術が駆使された軽く美しい知育玩具。



本商品の材質は木である。そこには、木の持つ、安心感とぬくもりがある。さらに、この商品には優しさや美しさがある。それは、一つひとつのパーツにこめられた確かな職人の手仕事により生み出されたものである。玩具として、オブジェとして、楽しみ方は自由自在。子どもから大人まで、見て、触れて、生活の中で心豊かな時間を過ごすことができる、そんな商品だ。

(九州旅客鉄道(株) 唐池 恒二)



老舗旅亭作の地魚の干物。常温保存可能で骨まで美味しい。

老舗旅亭が新鮮な地魚を食べて欲しいという思いで作り上げた、干物の魚を食べるというイメージを覆す逸品。一つひとつ丁寧に串に刺して焼き上げ、仕上げた3本入りのパッケージはお洒落感満載。賞味期限約6か月、常温保存、箸を使わずに手軽に食べられるという手土産には最高のデザイン。売場場所、見せ方によって面白い展開が期待できる商品である。

(株)石村萬盛堂 石村 一枝

河川敷・堤防等の急斜面にも対応可能な無線操縦式の草刈り機として、作業者の高齢化や安全性に配慮しながら作業効率を向上させている点が評価された。「あえて変わらないスタイルが安全認知につながる」という姿勢で、形態やネーミング等は納得のキープコンセプト。アワード常連企業として、次回はさらに上を目指した挑戦を期待したい。

(昭和トータルサービス(株) 徳永明)



悪条件下でも、作業員の安全を確保するラジコン草刈機

木材、紙などさまざまな端材・廃材の中で一番目をひいたのは、「TOMAKI CONE」。よく見ただけでは陶器の一輪さしに見えるが、実は糸巻き用紙の芯。使わずに捨てられていた廃材に新たな息吹を吹き込み、生き返らせることができる素晴らしい取り組みである。持続可能な社会を実現しようとする、時代に合ったビジネスモデルとして今後の発展に期待したい。

(阪急阪神百貨店 島本雅也)



端材の持つストーリーに価値を見出す廃材セレクトショップ。

ヒーローショーのトータルサポートが主であるが、悪 of 秘密結社という名前が示すように、悪役に焦点を当てて運営されている。イベントに合わせて、主役をさらに際立たせる演出を施していく。光と闇。闇が深ければ、それだけ光は輝きを増す。まさしく、表舞台の裏方である。逆転の発想に秘められた可能性は、これからますます広がっていくだろう。

(大宰府天満宮 西高辻信宏)



主役を引き立て、イベント趣旨を明確に演出するショー企画。

日本の伝統的な仕上げ材である「漆喰」をDIY商品に仕上げたもの。合成樹脂を一切配合していない100%自然素材の本格しつくないだ。DIY商品として初心者でも手軽に扱えるようにという意図は、マニュアルやパッケージデザインからも伝わってくる。また「漆喰II白」の概念も8色のカラーバリエーションで払拭され、容量も2タイプ(5kg・18kg)から選択が可能。

(JAGDA福岡 久保紀子)



DIYに日本の伝統漆喰を。古来の製法同様100%自然素材。

学生がデザインした、学生が勉強しやすいノートシリーズ。



本商品は2017年に商品化された「サイズ(1/1・1/4)」の第2弾。第1弾と第2弾のセット利用で利便性が高まるという。特に、FILENOTEは2枚のノートの下部をミシン目の入った袋状にしたことで、プリントなどの収納や切り離しての利用も可能。ペーパーレス化の流れの中、学生自身による学びをサポートするアイテムとして生み出された商品。

(JAGDA福岡 久保紀子)

本商品はシリコーンの素材と、長年にわたって培われた特殊成型技術を活かした商品であり、独特な形状とカラーバリエーションを持ち、素材としての耐久性、アレルギー対策をポジティブに活かした、利用者にとって使いやすい商品となっている。デザイン生活雑貨として価格も検討され、総合的に高い商品力を有するという点で、十分に銀賞に値すると評価した。

(九州大学 清須美 匡洋)



長年に渡り培われた技術でゴムの魅力を発信する。

## デザインアワードの 更なる価値向上から 「地域のデザイン力」の成長へ



商品のコンセプトや開発のポイントなどをじっくりと聞き出す審査委員。様々な専門的な観点からのアドバイスや販売先の提案なども見られた

平成11年から始まった福岡デザインアワードは、令和元年、第21回を迎えました。

第21回福岡デザインアワードでは、これまでの審査方法を見直すとともに、大賞などの受賞企業へ副賞として賞金を授与することとなりました。20年を経た福岡デザインアワードの応募商品等のデザインレベルが年々向上していることから、一次の書類審査で入賞候補（ノミネート商品）を絞り込むことが可能であり、ノミネート商品の中から実物等による最終審査において受賞商品等より綿密に審査する方法を採用しました。

16人の審査委員が一次の書類審査を行い、作り手の意図が商品などの仕組みやカタチに的確に可視化できているかを基本に、157件（145社）の応募から約30%にあたる49件（47社）を入賞候補に選出しました。

最終審査は、審査委員13人が展示会場での実物、概要パネルなどでの投票方式による非公開審査後、部門別のヒアリング方式の公開審査を実施しまし

た。公開審査での知見などを参考に非公開審査の結果を協議した結果、大賞1件、金賞5件、銀賞17件を選出しました。

部門別にノミネート件数の多い順の受賞率（受賞件数/ノミネート件数）を概観すると、食品（9/17、約53%）、生活雑貨・生活用品（5/11、約45%）、衣料・アクセサリ（4/7、約57%）、家具・インテリア（1/6、約17%）、イベント・地域ビジネス（2/3、約66%）、健康・美容・福祉（1/3、約33%）、産業・商業・公共空間機器（1/1、100%）となり、情報・サービスは受賞には及びませんでした。

今回は、家具・インテリアの「monaca stoolシリーズ」が大賞に選ばれました。和歌に描かれた花の心をカタチにした、今の生活スタイルに馴染む、和風すぎない、部屋の片隅にアクセントを添える、和菓子にインスパイアされたコンパクトなオリジナルツールが、令和元年に相応しい優れたデザインと高く評価されました。金賞は、博多・福岡の地域性から生みだされた、

手ぬぐいパンツ「ぐいパン」と「博多BARMEN」、使う人の心と体に寄り添ってデザインされた「医療用ウィッグ」と「ケープ付き授乳カッター」、そして音階打楽器「凜(RIN)」が、シンプルでまさに凜とした姿からも美しい音が視覚化されたデザインとして高く評価されました。

受賞された商品等からは、いずれも地域の資源、素材などを用い、地域で培ってきた技術を活かして、潔い独自の着眼点から独創性の高い仕組みと魅力的なカタチに可視化し、事業に結びつけた「地域のデザイン力」が発揮されていました。次年度も、地域から日本、世界へ発信できる「地域のデザイン力」で牽引する意欲的な応募を期待しております。



九州大学 名誉教授  
森田 昌嗣



第1回  
1999



**フロートパッキング**  
株式会社コンドー・マシナリー

電子機器等の品物を発送する際の衝撃から守るために開発された梱包材。エコな素材、簡単で無駄のないデザインが評価された  
応募件数 94 件 (61 社)

第6回  
2004



**DAIDABO**  
東木工株式会社

木製板材と箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ライフスタイルに合わせ、使い勝手が工夫できる新しい型の家具提案が評価された  
応募件数 102 件 (63 社)

第11回  
2009



**緑茶維新シリーズ T/BAG、T/POWDER**  
株式会社つじり

国産厳選茶葉の美味しさを手頃な価格で簡単に飲めるティーバックとティーパウダー。シンプルで美味しいお茶を飲む感動を伝える明解さが評価された  
応募件数 152 件 (123 社)

第16回  
2014



**くっパス**  
独楽工房 隈本木工所

筆記姿勢をよくする教習具。県産材を用いた技術と人間工学を踏まえたデザインが結びついた福岡発の思いやり商品として結実させた点が評価された  
応募件数 189 件 (155 社)

第2回  
2000



**快步主義 KHS L002**  
株式会社アサヒコーポレーション

歩く楽しさ、快適さを追求して開発された高齢者向けの靴。機能性と造形性のバランスがとれたデザインが評価された  
応募件数 108 件 (90 社)

第7回  
2005



**ecopo**  
田川産業株式会社

漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。実体験型の学習効果や植木鉢を作る喜びを表現したデザインが評価された  
応募件数 100 件 (67 社)

第12回  
2010



**デザイナーズ防犯カメラ [PF-JT111]**  
株式会社日本防犯システム

ブランドショップなど多様な設置環境との調和を考慮した“み(見・魅)せる”防犯カメラ。最新技術と造形力を統合したデザインが評価された  
応募件数 139 件 (117 社)

第17回  
2015



**アイスリットテープディスペンサー**  
福岡丸本株式会社

微細加工技術を用い、金属刃による課題を解決したテープディスペンサー。デザインや、産学連携の実証実験、社会への新たな提案力が評価された  
応募件数 165 件 (145 社)

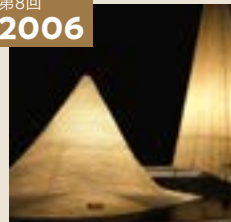
第3回  
2001



**Life-D**  
大川ライフデザイン研究所

11 社の大川家具メーカーと福岡のデザイナー・建築家の異分野コラボで生まれた家具。日本人の暮らしに寄り添った人にやさしい造形性が評価された  
応募件数 65 件 (57 社)

第8回  
2006



**八女手漉き和紙 プリーツ加工紙**  
松尾和紙工房

半立体のプリーツ加工を施した八女手漉き和紙。平面表現に特化した和紙のあり方を一変させ、多様な生活シーンを創り出す可能性が評価された  
応募件数 112 件 (87 社)

第13回  
2011



**ヘアケアピュアローション「椿なの」、「椿なのリペア」**  
株式会社オーラテック

界面活性剤を使用しない防腐剤無添加のヘアケアピュアローション。“ひとにやさしい”デザインが評価された  
応募件数 162 件 (136 社)

第18回  
2016



**博多水引ボトルリボン**  
有限会社ながさわ結納店

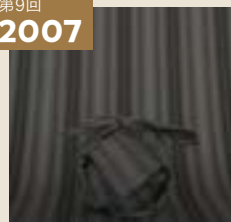
ワインボトルを華やかに飾る博多の伝統工芸「博多水引」のボトルリボン。伝統工芸の美しさと使い勝手のよさを融合させた卓越したデザインが評価された  
応募件数 150 件 (127 社)

第4回  
2002



**該当なし**  
応募件数 91 件 (74 社)

第9回  
2007



**小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA**  
有限会社小倉クリエーション

途絶えた小倉織を復活させ、機械織により広幅化を実現した風呂敷。現代的な縞柄デザインを取り入れ、クオリティの高い商品を展開したことが評価された  
応募件数 100 件 (79 社)

第14回  
2012



**柳川まめマヨ**  
柳川農業協同組合

柳川産大豆フクユタカの豆乳を原料としたマヨネーズ風ドレッシング。商材の魅力を伝えるネーミングやパッケージ、地域ビジネスの可能性が評価された  
応募件数 174 件 (139 社)

第19回  
2017



**廃校利活用事業「いいかね Palette」**  
株式会社 BOOK

廃校を利活用し持続的施設運営を可能にした地方創生プロジェクト。多彩に成長するビジネスモデルが評価された  
応募件数 147 件 (132 社)

第5回  
2003



**あんしんなタオル**  
宮原タオル株式会社

化学薬品を使わない、赤ちゃんからお年寄りまで安心して使えるタオル。商品説明も読みやすく処理されており、一貫したデザインが評価された  
応募件数 80 件 (62 社)

第10回  
2008



**TONBY**  
紙飛行機デザイン工房

世界初、折り紙の特殊効果用紙飛行機。単純な構造ながら安定した滑空を実現。大空に飛ばせるイベントツールとしての可能性が評価された  
応募件数 132 件 (106 社)

第15回  
2013



**Archi skin**  
株式会社マイサ

「建物を覆う皮膜」をコンセプトにアルミ製パネルで作られた建築資材。技術面や機能性、新しいビジネスの可能性を広げ、波及効果が大きい点が評価された  
応募件数 145 件 (124 社)

第20回  
2018



**一日 20g の食習慣「西利乳酸菌ラブレ」**  
京つけもの西利

乳酸菌を使用した野菜の漬物。1週間分がワンパックになったデザイン、企画性、価格努力など、商品開発力が評価された  
応募件数 130 件 (122 社)



主催 福岡県産業デザイン協議会・福岡県

協賛 九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、西部ガス株式会社、TOTO 株式会社、株式会社西日本シティ銀行、西日本鉄道株式会社、株式会社福岡銀行、福岡地所株式会社、株式会社安川電機（順不同）

後援 九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB 毎日放送、NHK 福岡放送局、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、TVQ 九州放送、FBS 福岡放送、朝日新聞社、一般社団法人共同通信社、産経新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社東急ハンズ博多店、株式会社博多大丸、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、西日本工業大学、専門学校日本デザイナー学院、福岡デザイン専門学校、北九州総合デザイナー協会、一般社団法人九州アートディレクターズクラブ、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、一般社団法人日本空間デザイン協会、公益社団法人日本クラフトデザイン協会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、ジェトロ福岡、一般社団法人九州北部信用金庫協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会（順不同）

応募資格 日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等

応募対象 日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。

- ①反復生産が可能なもの（部品を含む）
- ②概ね5年以内に開発されたもの
- ③現在販売中または今年度販売予定のもの

- 応募区分
- Ⓐ衣料・アクセサリ／衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
  - Ⓑ食品／食材や製法にこだわった飲食に関するもの
  - Ⓒ健康・美容・福祉用品／健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
  - Ⓓ生活雑貨・生活用品／生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
  - Ⓔ家具・インテリア／家具、畳など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
  - Ⓕ産業・商業・公共空間機器／OA 機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
  - Ⓖ情報・サービス／ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
  - Ⓗイベント・地域ビジネス／スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの

会期 2019年11月12日（火）11:00-12:00 公開審査／11:00-16:00 ノミネート商品展示会／15:00-16:00 授賞式  
11月13日（水）11:00-18:00 ノミネート商品展示会／12:00-18:00 個別商談会  
会場 JR九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ9F）

審査委員

審査委員長	森田 昌嗣	九州大学 名誉教授
副審査委員長	清須美 匡洋	九州大学 副理事 未来デザイン学センター長
審査委員	石村 一枝	株式会社石村萬盛堂 専務取締役
	伊藤 敬生	株式会社 電通九州 アートディレクター
	垣田 健吾郎	一般社団法人福岡デザインアクション 理事
	金谷 勉	有限会社セメントプロデュースデザイン代表取締役社長／クリエイティブディレクター
	唐池 恒二	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
	久保 紀子	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）福岡地区代表幹事
	古賀 俊充	福岡県商工会連合会 支援部長
	島本 雅也	株式会社阪急阪神百貨店 博多阪急販売促進部 ディビジョンマネージャー
	徳永 明	昭和トータルサービス株式会社 デザイン室 室長
	西高辻 信宏	太宰府天満宮 宮司
	林 秀和	株式会社インキューブ西鉄 天神店店長兼第1グループ グループ長

福岡県産業デザイン協議会

設立 平成9年11月13日

産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携して、デザインを活用した商品企画・開発の促進と、デザイン性に優れた商品の販路開拓を推進することにより、福岡県における産業デザインを振興し、もって福岡県経済の発展に寄与することを目的とする。

会員数 225 団体・個人（2019年3月末現在）

会長 唐池恒二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長

副会長 石村一枝 株式会社 石村萬盛堂 専務取締役

久保紀子 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）福岡地区代表幹事

事務局 福岡県 商工部 新事業支援課

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7

Tel. 092-643-3449 Fax. 092-643-3226

E-mail: design-2@fida.jp URL: <https://award.fida.jp>



**FUKUOKA DESIGN AWARD**